校区安全マップ

高槻市立第七中学校

① 校区の危険箇所を知ろう

どんな危険があるのかな？

交通安全

例えば…
- フロック塀や自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- 信号機のない横断歩道
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 車と車の間

まとめると…「飛び出し」が発生しやすい場所

防犯

例えば…
- 人通りの少ない道路やトンネル
- 人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

まとめると…誰もが「入りやすく」、誰からも「見えにくい」場所

防災

例えば…
- 古びていたり、高さのあるブロック塀の側 } 地震
- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 崖の近く
- 河川敷や水路沿い } 大雨

まとめると…地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

② 交通安全

歩いているときだけではなく、自転車に乗っているときも忘れないために、どういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。

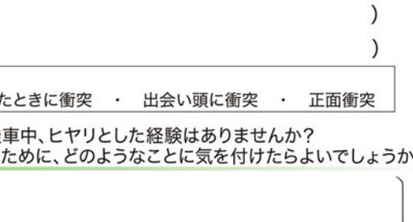
誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら…

①すぐに

②大きな声で

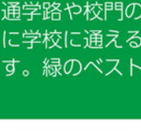
③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

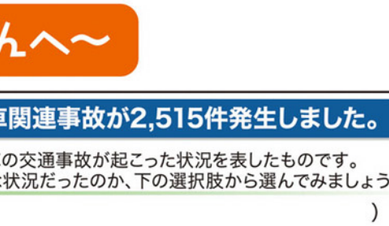


防犯

③ 自分の安全を守る方法を身に付けよう！

どうすれば安全に登校(生活)できるかな？





防災

・地震が起こったら

場所に身を寄せる

・大雨が降ったら

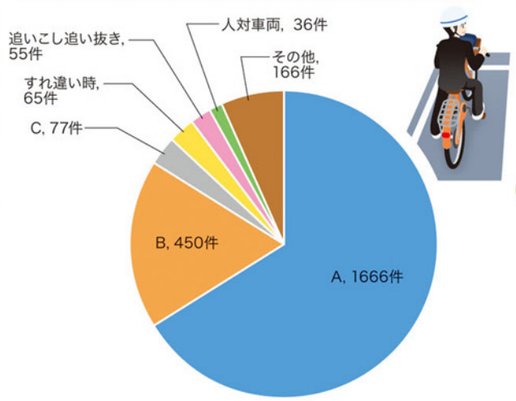
山や崖、川や水路には

答えはこちらから

④ 考えてみよう！～中学生のみなさんへ～

大阪府では、平成29年から令和元年の3年間に小中学生の自転車関連事故が2,515件発生しました。

平成29年から令和元年に発生した小・中学校の自転車関連事故の事故類型別内訳（大阪府警察HPより抜粋）



Q1 左のグラフは自転車の交通事故が起こった状況を表したものです。A, B, Cがどのような状況だったのか、下の選択肢から選んでみましょう。

A（　　）

B（　　）

C（　　）

【選択肢】
右折や左折をしたときに衝突　・　出会い頭に衝突　・　正面衝突

Q2 皆さんが自転車に乗車中、ヒヤリとした経験はありませんか？
それらを未然に防ぐために、どのようなことに気を付けたらよいでしょうか。

ヒヤリとしたこと

どうしたら安全になる？

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。

2 自分の校区を確認しよう

第七中学校

1 交通安全

見通しが悪く、バイクや車の交通量が多い。

2 交通安全

特に朝の時間は右折左折のバイク、車、トラックなどの交通量が多く、注意が必要。

3 交通安全

近くに大きなトラックがとまる駐車場があり、交通量も多いので注意が必要。

4 交通安全

交通量が多く、視界がせまく注意が必要。

5 交通安全

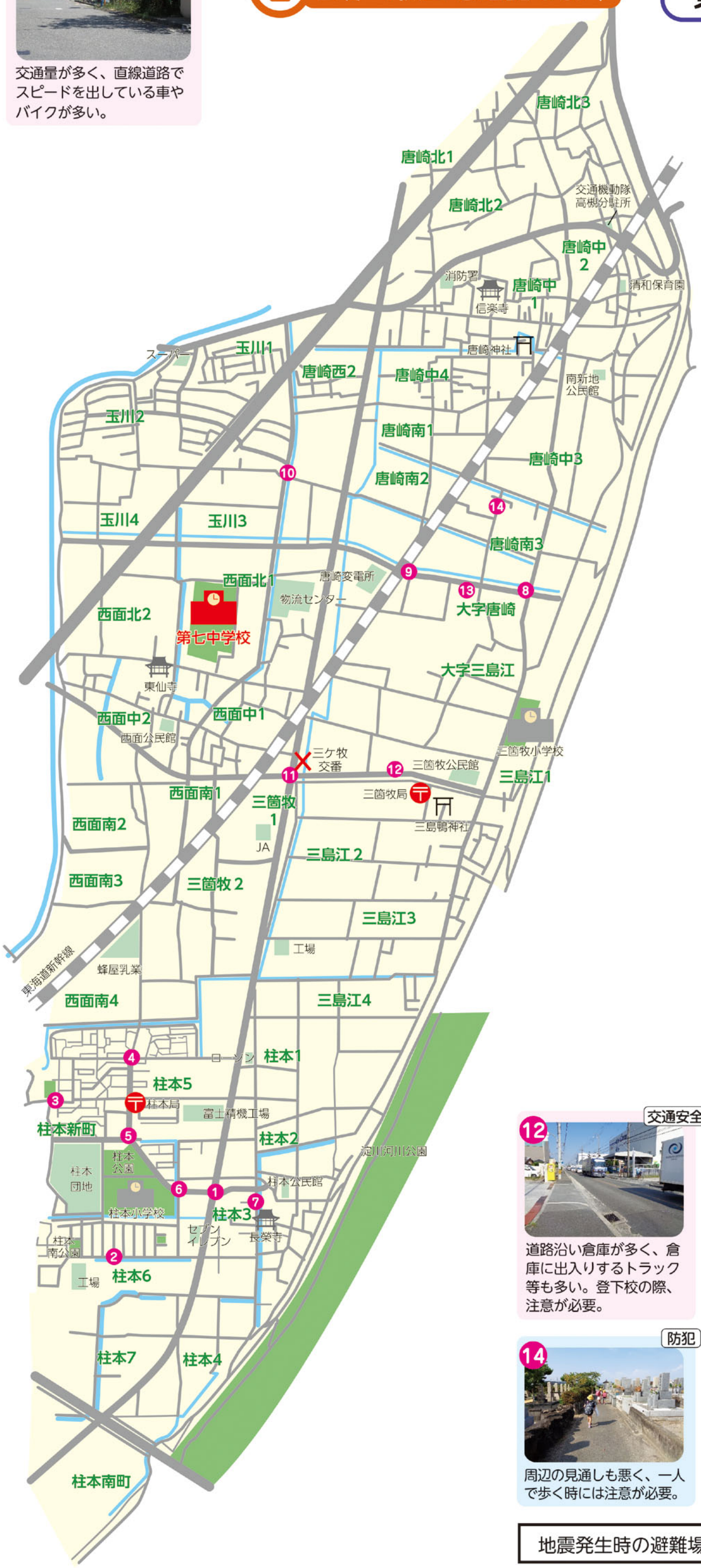
歩道橋を渡りましょう。

6 防災

田んぼなどの農業用水路になっており、天候に関係なく水量が多い時があります。絶対に入ってはいけません。

7 交通安全

交通量が多く、直線道路でスピードを出している車やバイクが多い。



8 交通安全

通学路と直交している車道。やや登りで、車がスピードを上げて通行するので注意が必要。

9 交通安全

新幹線下道路抜け道のため、交通量が多くスピードを出す車も多いので注意が必要。

10 交通安全

車の交通量が多く注意が必要。用水路横のせまい道路。バイク・自転車も通行するため注意。

11 交通安全

西面の交差点。交通量が多く、トラック等の大型車の交通量も多いため、注意が必要。

12 交通安全

道路沿い倉庫が多く、倉庫に出入りするトラック等も多い。登下校の際、注意が必要。

13 防犯 防災

田んぼ地帯が多く、トラブル時、逃げ込んだり避難する場所がない。

14 防犯

周辺の見通しも悪く、一人で歩く時には注意が必要。

✕	交番
〒	郵便局

地震発生時の避難場所（　　）

令和５年３月発行